

令和7年第1回南丹市議会3月定例会一般質問通告文書表
(代表質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 吉田 尋子 (一問一答) 質問予定日 2月26日 午前10時～	まちづくり	市政20年の総括と今後のまちづくりについて	①南丹市は来年1月で平成18年の4町の合併から20年となる。4町の特徴を生かしたまちづくりを進めてきたが、どう評価するか。	市 長 教 育 長
			②市長任期最終の7年度予算は、市政発足以降最高規模の272億1300万円が提案された。財政健全化プランの集中健全化期間最終年度として、事務事業の見直しや既存施設の在り方、新たな歳入の確保など市政の集中改革に取り組むとして、市民生活にも相当の影響があると予想される。そのような中、過去最大の予算規模に至った市長の考えは。また、プランとの整合性は。	
			③市長は「オール南丹」へのシフトアップが必要との見解を示された。その考え方は。これまでの4町の特徴を生かしたまちづくりはどうなるか。	
			④市の「ブランディング」をめざすとのことであるが、単なるイメージだけでなく、今後10年の近未来を見据えたまちづくりに即した具体的な実行性のあるブランディングが必要と考えるが、市長の考えは。	
			⑤教育長は「受けたい教育」のある南丹市と言われているが、どのような教育なのか。	
			⑥小中一貫校や特徴ある教育実践を行うことで、IターンやUターンを促進することができるのではないか。そのような構想はないか。	
	選挙	市長・市議会議員の同日選挙について	南丹市長・市議会議員選挙を同日に行うことにより、市民の関心が高まり、投票率の向上が期待できるほか、選挙に係る費用の軽減で、市の財政健全化にも寄与するものとする。この件について当会派では、令和4年の代表質問で、同日選挙の法的な可能性や実施する場合の課題などについて選挙管理委員長に質問し、「公職選挙法が定める「90日特例」により可能であるが、議員任期満了日の翌日から選挙執行日までの間、3月議会の時期に長期の議員不在期間が生じることとなる」などの答弁であった。同日選挙を実施するには、議会と市長が同じ思いで、共に検討し、実現に向けて取り組む必要があると考えが、同日選挙についての市長の考えは。	市 長
	男女共同参画	女性の社会進出について	①本市の意思決定の場における女性の社会進出に対する市長の評価は。	
			②令和6年度に実施している女性リーダー育成のための事業の状況と評価は。	
			③意思決定の場、とりわけ市議会、各種審議会における女性割合を増やすための今後の取り組みは。	
			④男女共同参画の面からもワークライフバランスは大変重要である。市役所職員の勤務時間において配慮等はなされているか。	

令和7年第1回南丹市議会3月定例会一般質問通告文書表
(代表質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
新誠会 面村 好高 (一問一答) 質問予定日 2月26日 午前11時10分～	財政	財政運営について	①令和7年度一般会計予算は約272億円と過去最大で驚愕の予算編成となった。昨年10月に発表された「財政健全化プラン緊急対策」に基づき、予算削減の取り組みがなされたと料する。しかし財政健全化により予算総額が削減されるなら理解できるが、合併特例債発行可能最終年度となることを踏まえても、あまりにも巨額の予算編成である。要因と令和5年10月に発表された「財政健全化プラン」との整合性について伺う。	市 長 担 当 部 長
			②厳しい財政状況の中で予算編成にあたり、各種事業について「選択と集中」が行われたと料する。ハード事業が多く予算計上された中で、補助金や事務事業の予算が削減されている。どのような基準でなされたかを伺う。	
			③財政指標はこれまで着実に改善されてきたが、令和7年度で悪化すると予想される。令和7年度末の財政調整基金が約7億円に減少する一方、地方債残高は約15億円増加する。今後の財政指標を含めた財政運営の見通しについて伺う。	
	公共施設	公共施設の見直しについて	①公共施設の見直しについては「財政健全化プラン緊急対策」で一定の方向性が示されている。その中で「農村田園文化コミュニティセンター」は長期的に見直しに取りかかる施設として位置付けられていたが、JA京都本店移設に伴い、喫緊に当団体への賃貸が予定されている。しかし建築に際しての補助金の処分の制限を受ける期間が満了していないことから補助金返還が発生し、それが相当な金額であると思料するが対応について伺う。	
			②「農村田園文化コミュニティセンター」は市街化調整区域に位置し、都市計画法上の用途に制限がある。基本的に民間事業者の事務所として使用するには立地基準に当てはまらな料するが対応について伺う。また、現地での使用については京都府の用途変更許可後になるが現状について伺う。	
			③民間事業者が公共施設を使用する場合、指定管理施設であれば事業者は賃料を支払うが、民間事業者が指定管理者になれば、逆に市が事業者指定管理料を支払うことが可能になる。同じように施設を使用する中で、この違いに違和感を覚えるが所見を伺う。	
	道路整備	国道9号の整備改良について	我々新誠会では2月4日に国土交通省の吉井章大臣政務官へ要望書を提出した。要望内容の一点目はJR嵯峨野線吉富駅周辺の国道9号線拡幅交差点改良、二点目が国道9号観音峠のバイパス整備、三点目がJR嵯峨野線八木駅東口周辺の国道9号線拡幅交差点改良である。市長におかれても強く要望されていると思料するが今後の方向性について伺う。	
活緑クラブ 若井 睦巳 (一問一答) 質問予定日 2月26日 午後1時05～	財政	財政健全化について	①令和7年度当初予算は最大規模の額となっている。物価高騰等の状況からすると、更に費用が膨らむ可能性も十分にあると考える。その一方で、財政健全化プラン緊急対策を進めていくということになると、かなり難しい舵取りになると考えられる。この点、今後の見通しを含め見解を伺う。	市 長 担 当 部 長
			②残課題や、なかなか進まない事業で、本来であれば市の収入増につながる可能性のある事業はないのか。また、財政健全化プラン緊急対策の歳入の確保のところであげているもの以外で、収入増の可能性のあるものはないのか伺う。	
	行政	南丹市creative-labについて	①1月16日の報告会以降、具体的な進捗はあるのか伺う。	
			②新たな取組を円滑に進めるためには、職場の風通しや職場風土が関係すると言われている。働きやすい職場というのはどういうものと考えているか、また好ましくない状態についてどのように考えているか伺う。	
		市民との対話について	昨年12月議会の後、小学校跡地施設の今後について「・・・それぞれの地域団体としっかりと対話をする」と市長に対し提言を行っている。この問題だけではなく、事業・施策を進める上で市民との対話は必要である。本市は市民としっかりと向き合っ対話ができているのか、市長の見解を伺う。	
		2月の大雪の状況について	最強・最長寒波の影響で、各地で大きな被害が出ている。本市の状況について伺う。	
	防災	節水について	降雪の影響で市内の浄水場貯水タンク内の水が溜まりにくい状況にあり、節水の協力を防災無線等を通じて呼びかけていたが、その状況について伺う。	

令和7年第1回南丹市議会3月定例会一般質問通告文書表
(代表質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
公明党 平田 聖治 (一問一答) 質問予定日 2月26日 午後2時15分～	学校施設	避難所となる学校施設の防災機能強化の推進について	学校体育館は子どもたちの教育の場ですが、災害時には地域の避難所としても重要な役割を担います。冷暖房空調設備の整備を加速させ、児童生徒に加えて、避難者も安心して過ごせることが大切であると考えます。また、激甚化・頻発化する自然災害において、避難所となる体育館に空調設備が整備されていないことなどから、被災後の避難生活の疲労やストレスで亡くなる「災害関連死」の割合も増加しているといわれています。そこで、小中学校体育館に空調設備を設置して防災機能強化を図ってはと考えますが、市長・教育長の見解を伺います。	市 長 教 育 長 担 当 部 長
	高齢福祉	認知症の人に寄り添った地域社会の構築について	65歳以上の人口がピークを迎える2040年には、認知症高齢者数が約584万人、軽度認知障害(MCI)高齢者数が約612万人に上ることが推計される中で、誰もが認知症になり得るという認識のもと、共生社会の実現を加速することが重要です。特に地方公共団体は、認知症の人やその家族等にとって身近な行政機関であるとともに、認知症施策を具体的に実施するという重要な役割を担っています。認知症の人も家族も安全に安心して暮らせる地域の構築への取り組みが必要です。そこで次の3点について伺います。	市 長 担 当 部 長
			①認知症に関する知識および認知症の人に関する理解を深める取り組みの推進について。行政が軸となり、小中学校の児童生徒、地域の企業・経済団体や自治会等と連携して、認知症サポーター講座のさらなる展開や認知症に関する知識および認知症の人に関する理解を深める取り組みを強化すべきと考えますが見解を伺います。	
			②認知症の人の尊厳ある暮らしを守るケア技法であるユマニチュードの普及について。認知症の人の行動・心理症状(BPSD)の発生を抑制し、認知症の人と家族等の尊厳ある暮らしを守るために、ユマニチュードの普及に取り組むべきと考えますが見解を伺います。	
			③地域における認知症ピアサポート環境の整備について。認知症の本人や家族等が診断後早い段階で同じ経験をした方々との情報共有やさまざまなアドバイスを受けられるように、インターネットによる交流も含めた、地域における認知症ピアサポート環境の整備も必要と考えますが見解を伺います。	
	健康福祉	誰もが安心して搾乳できる環境づくりについて	現在、多くの人が利用する施設には、赤ちゃんにミルクをあげることなどができる「授乳室」の設置が進んでいますが、授乳室で「搾乳」もできることについては、まだ、一般の理解が進んでいません。産後に職場復帰する女性にとっても、職場で安心して搾乳できる場所の確保や周囲の理解などが課題となっています。女性が出産後安心して社会参画でき、健康に活動するためにも、社会全体が出産後の女性の健康管理について正しく理解し、公共施設や職場、商業施設において、安心して搾乳できる環境を整えることが重要であると思います。そういった環境づくりに取り組むべきと考えますが見解を伺います。	

令和7年第1回南丹市議会3月定例会一般質問通告文書表
(代表質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
日本共産党議員団 小林 毅 (一括質問) 質問予定日 2月26日 午後3時15分～	市政の存立 基盤のゆらぎ	八木図書室へのJA入居はあってはならない	①昨年12月、突如八木図書室の退去とJA京都本店の入居が報告され本年2月3日実行された。JAとの契約の日と内容、JAの決定日、市教育委員会での検討日と出た意見、「場所移動」に要した経費額を聞く。予算計上はないと思料するがいかがか。	市 長
			②前身は「八木町立郷土資料館」、支所の一角ではなく独立した社会教育施設、『場所移動』というのは通用しないのではないか。建設時に充当された補助金名・起債名を聞く。	
			③市の社会教育用行政財産が、そのまま経済団体であるJAに提供されるようなことは、自治体が保持しなければならない最低限のモラルを逸脱しているのではないか。	
	令和7年度予算編成	2年で68億円の借金。将来負担は大丈夫か	①R7年度、54億円の建設事業投資。R6年度現計は31億円。起債発行は2年で68億円。将来負担は大丈夫か。	
		福祉・くらしの予算削減はやめるよう求める	②財政破綻とは基金の枯渇である。R7年度末でも自由度の高い基金残高が31億円、減債基金が10億円ある。「財政難」を理由に福祉・くらしの予算を削減するのはやめるべきである。	
		活用予定のない基金の債券運用。現況と見通し	③当面活用予定のない基金、25億円余の水道積立金の一部を債券に投資している。含み益(含み損)の現況と見通しはどうか。毎年の現況報告を市民にしよう求める。	
	市民要求実現へ	学校体育館エアコン設置の予算化をいまこそ	④政府はR6補正予算で「空調設備臨時交付金」を創設。設置後の電気代等も普通交付税で措置される。今こそ学校体育館のエアコン導入の時だ。R7年度の予算化へ市長の英断を求めたい。	
新風会 塩貝 孝之 (一問一答) 質問予定日 2月26日 午後4時15分～	防災	消防団活動について	災害時相互支援体制構築事業で導入された資機材の稼働状況について、以下の点を伺う。	市 長 担 当 部 長
			①資機材の運用規定について	
			②能登半島地震及び豪雨について	
			③バックホーの操縦研修について	
	地域振興	吉富駅等、JR駅周辺の活性化について	①企業誘致はもちろんのことだが、国や府の機関誘致も検討出来ないか伺う。	市 長 担 当 部 長
			②各駅を拠点とした活性化はJR増便への近道と考える。また駅名称の変更も検討課題であると考えているが、見解を伺う。	
	行政	行政組織のスリム化について	移住定住促進や地域振興などは農林業、商工業と綿密な連携が求められると考える。既存の部を統廃合することによって、業務力の向上や管理職の削減が図れると考えるが、見解を伺う。	市 長
	公共施設	新設される学校給食共同調理場について	近い将来に施設のオーバースペックが懸念される。その事を踏まえ以下を提案する。	市 長 担 当 部 長
			①建設段階から、委託される民間事業者と連携した施設設計	
			②学校給食に限定しない運営(小中高大学、放課後児童クラブ、病院、介護施設、高齢者宅食等)を実施する事により、施設規模の維持や就労機会の増大を図るとともに、一次加工品の生産によるフードロスの削減や、冷凍技術の応用を図り美山も対象地域にするなど、多様な運営を目指してはどうか。	

令和7年第1回南丹市議会3月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 小中 昭 (一問一答) 質問予定日 2月27日 午前10時～	平和	平和都市宣言(非核宣言)について	昭和20年(1945年)8月6日に広島、9日に長崎に原子爆弾が投下され20年末までに広島でおよそ14万人、長崎でおよそ7万4千人の尊い命が奪われた。この被爆後、被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた日本原水爆被害者団体協議会が昨年ノーベル平和賞を受賞された。現在、全国の多くの自治体が「平和都市宣言」をしている。また、多くの議会が決議している。南丹市議会も平成19年12月21日に「平和都市宣言」を決議している。今年は戦後80年。また、南丹市は来年合併20年の節目を迎える。これを機に「平和都市宣言」をしてはと考えるが、所見を伺う。	市 長 担 当 部 長
	医療	南丹みやま診療所の医師確保について	中長期的な観点からも常駐の複数医師が必要と考える。本年4月以降の医療体制について現時点の状況を伺う。	
	危機管理	クマの出没について	①昨年はクマの出没が非常に多く見受けられた。各町の出没(目撃)の情報と捕獲数は。	
			②京都府の発行する「農林漁業のうごき」No.196の中に各市町・猟友会・警察担当者が集まり、ツキノワグマの出没対応会議を開催とあるがどのような内容であったのか。	
			③昨年4月にクマが指定管理鳥獣に指定された。鳥獣保護管理法の改正が通常国会に提出され審議される。法案が通れば市長の判断が重要になり責任も重くなるが所見を伺う。	
	交通	北陸新幹線延伸について	京都府知事と鉄道建設・運輸施設整備支援機構に北陸新幹線整備事業に係る要望書を提出されたが、どのような対応であったのか伺う。	
新誠会 堤 博明 (一問一答) 質問予定日 2月27日 午前11時～	行政改革	creative-labについて	①creative-labの取り組みが行われ、1月に報告会が開催されたが、市長の所見を伺う。	市 長
			②報告会では3つのテーマについて提案が示されたが、提案1の「組織・業務改善について」市長の見解を伺う。	
			③提案2「待遇について」どのように受け止めているか、市長の見解を伺う。	
			④提案3「施策について」市長の見解を伺う。	
	防災	避難所について	①昨年3月の一般質問で、災害時の避難所についてペットと一緒に避難が出来るように求めた件で、前向きな答弁をされていたが、現在の進捗状況について市長に伺う。	
			②今後の計画について伺う。	
	防犯	防犯カメラ設置について	防犯カメラ設置は市民の安心安全な暮らしを守るために重要な取り組みと考えるが、自治会等への補助金制度を設けてはどうか、市長の見解は。	

令和7年第1回南丹市議会3月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
活緑クラブ 村山 好明 (一問一答) 質問予定日 2月27日 午後1時～	行政改革	地域力の活性化について	①昨年の財政健全化プラン説明会について、広報南丹では地域の施設等及び補助金の見直し等の説明があった。その後の市民の方々からのご意見及び対応内容を伺う。	市 長 担 当 部 長
			②本市の意向は、財政の立て直しをしながら、将来の活性化及び明るい未来を目指すことと考える。市長が目指す明るい未来の展望についての構想及び考えを伺う。	
			③地域の活性化のためには、当然、公助・共助、自助が三位一体となった取り組みがベストと考える。財政健全化プランを進める中では、地域内及び地域間の助け合い等の共助力を活性化することが地域の維持に必要と考える。本市の見解を伺う。	
			④共助力の活性化のため、市としての働きかけや、きっかけづくりも必要と考えるが、本市の見解を伺う。	
	地域振興	JR胡麻駅のバリアフリー化について	①令和4年9月にJR胡麻駅のバリアフリー化についての一般質問を行った。JRと前向きな交渉をしたいと答弁があったが、その後の経過について伺う。	
			②公共施設・民間施設等では、高齢者及び障がい者に配慮する施設が常識となっている中、今も、JR胡麻駅は、線路を渡る高架で、急な階段を上って横断する状況であるが、本市の見解は。	
	上下水	上下水道老朽化について	日吉郵便局横の日吉支所駐車場は、最近、無断駐車防止のために、夜間チェーンが張られているが、JR利用者が駐車ができる場所としては最適な場所でもある。コインパーキングとして利用することが、市有施設の有効活用、JR利用促進の一助になると考えるが、市施設の有効利用として試験的に取り組んでは。	
			①先般、埼玉県八潮市で道路陥没事故が発生した。原因としては、下水道管の老朽化と言われている。本市の現在の下水道管の状況を伺う。 ②上下水道管の安全対策及び今後の対応予定は。	
公明党 木戸 徳吉 (一問一答) 質問予定日 2月27日 午後2時～	地域振興	観光振興について	観光施策において、永年の懸案事項であった本市の観光協会の一本化が4月より実施される。期待されることは今後さらに市内全域を対象とした観光の賑わいと考ええる。 ①一本化における全市的な取り組みをどのように期待しているか。 ②観光客に滞在時間を多くして観光を楽しんでいただくことが課題と考えるがどうか。 ③かやぶきの里のトイレや河鹿荘のかやぶき屋根の現状、修復等今後の取り組みを伺う。	市 長 担 当 部 長
			高齢化の進行が速いように感じる。それと共に買い物など外出支援が、地域の皆様や振興会、福祉の支援によって実施されている。そうした中、他市町の自治体や福祉関係者による高齢者世帯のゴミ出し支援を実施されている事をお聞きする。人員の問題、経費等課題は沢山あると考える。行政、福祉、地域振興会、各区等が現状を共有して、ゴミ出し支援ができないか伺う。	
	環境と福祉	高齢化におけるゴミ出し支援について	財政を立て直すとの決意のもと令和5年10月には「南丹市財政健全化プラン」を、令和6年10月には「南丹市財政健全化プラン緊急対策」を策定され、取り組みの一環として数ある施設の廃止や休止等がなされている。地域によってはその施設を譲り受け、維持管理されるところと伺っている。今後、譲り受ける施設は永年使用され老朽化も進んでいる状況であるが、地元としては傷んでいるところを改修して頂きお受けしたいと考えておられるが、市長の所見を伺う。	
	行政	市施設の廃止、譲渡について		

令和7年第1回南丹市議会3月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
日本共産党議員団 河野 啓介 (一問一答) 質問予定日 2月27日 午後3時～	教育	校外活動と万博	来年度、本市立学校のうち一校の修学旅行で関西万博の見学が行程に組まれています。	教 育 長 担 当 部 長
			①修学旅行を含む校外学習の目的一般についてお聞きます。	
			②校外学習を行うにあたって、計画立案の手順についてお聞きます。	
			③当該校において関西万博を行程に組み込むに至った経緯についてお聞きます。	
	地域振興	「合併20周年」への地域振興	④関西万博に関してはさまざまな危険性が指摘されています。教育委員会として把握、認識されていること、及び各校への周知の実態についてお聞きます。	市 長 担 当 部 長
			市長は市政運営の基本方針として「5つの柱プラスワン」を掲げ、「南丹市をもっと元気に！地域の個性を生かし希望あるまちづくり」の実現を目指すとされています。	
			①一つ目の柱『子育て環境の充実、若者定住のまちづくり』の実態について、若者定住を進めるには、前提として、すでにそこに住んでいる方々の安心安全が不可欠です。全市を対象として見たときに、現状をどう捉えているのか改めてお聞きます。	
			②地域の力を引き出すためには行政の強い後押しが必要であると思われませんが、広大な南丹市において、「周辺」部には作用が及びにくいことは明白です。本市の「周辺」部施策の基本方針についてお聞きます。	
つなぐ 谷尻 宣雄 (一問一答) 質問予定日 2月27日 午後4時～	まちづくり	西村市政2期目のまちづくりについて	令和4年第2回6月定例会において市長は、2期目の最重要課題は人口減少対策であると述べられ、宅地供給、JR吉富駅周辺の開発、新たな工業団地の整備に取り組むと述べられている。2期目の最終年度を迎える今、現状をどのように捉え、今後どのように進める考えなのか、以下の点についてお伺いする。	市 長 担 当 部 長
			①人口減少対策の現状をどのように捉え、今後どのように進めるのか伺う。	
			②府道・JR踏切拡幅・準用河川改修などJR吉富駅周辺の開発についての現状と今後どのように進めるのか伺う。	
			③吉富駅西エリアの土地利用の現状と今後の進め方を伺う。	
	教育	京都府こどもの大阪・関西万博体験支援事業について	④工業団地の整備の現状と今後の整備の進め方について伺う。	教 育 長
			本年4月13日から10月13日まで大阪夢洲で開催される大阪・関西万博において、京都府では体験支援事業を計画されている。本市教育委員会として本事業を利用し、子どもの万博体験をさせるのか、また他府県では熱中症や安全対策の不十分さなどで万博へ行かない学校もあると聞くと、教育長の所見を伺う。	

令和7年第1回南丹市議会3月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
新誠会 樋口 浩之 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午前10時～	まちづくり	地域ブランディングについて	地域ブランディング戦略策定の進捗状況について伺う。	市長
		超高齢化社会について	近年、本市では一般会計予算の増加に対して職員数は減少している。事業の増大に対する人員の減少は1人あたりの業務負担増加につながり、また高齢化の加速に伴う更なる扶助費の増加や、窓口対応等の業務負担が増加することが予測される。このような急速な社会環境の変化に適応するためには時代に即した行政改革が必要であると考えますが、市長の見解を伺う。	
			現在85歳以上人口のおよそ4人に1人が要介護3以上であると言われる。2035年には本市人口の内85歳以上人口の割合が約12.5%になるという推計があり、あわせて現在、地域づくりの中心を担う前期高齢者の減少も進む中、市民自治にも時代に即した変革が必要であると考えますが、市長の見解を伺う。	
		小規模多機能自治について	小規模多機能自治(概ね小学校区などの範囲において、その区域内住民により構成された地域共同体が、地域実情及び地域課題に応じて住民の福祉を増進するための取り組みとして行う自治の形態)は人口減少や超高齢化といった状況に適応するための一つの形態であると考えますが、本市における適用の可能性について伺う。	
活緑クラブ 下間 康広 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午前11時～	農業	農業振興について	本市の農業、特に周辺地域の農業は様々な課題も多く、今後の政策の方法性が非常に重要になると考える。本市では約1,540の経営体の方々が農業に従事されているが、高齢化率も上昇し、専業・準専業経営体を含めて65歳以上の従事率が55%と高い水準にあり、さらに兼業経営体が約80%を占めるといった現状もある。このような現状を踏まえ以下3点を伺う。	市長 担当部長
			①本市の「農業」の現状をどう捉えているのか、市の見解を伺う。	
			②本市の「農業」を発展させるには、本市の特徴を理解し、他市に負けない特色を出すことが重要だと考える。これからの農業振興に対する考えを伺う。	
			③本市の状況を客観的に見ると、圧倒的に兼業(専・準専業以外)農家が多い。兼業農家に対する支援策を講じるべきだと思うが、市の考えを伺う。	
	施設	公の施設の今後について	財政健全化に伴い、公の施設の再配置も検討され有効活用に向かわれている。その反面、取り残された施設に対しての不安が大きくなってきており、以前から取り残された施設の今後にも注目されている。以上のことを踏まえ、以前質問した旧摩気・西本梅幼稚園両施設のその後の検討経過や内容について伺う。	

令和7年第1回南丹市議会3月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 山下 秋則 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午後1時～	公共交通対策	JR嵯峨野線等の利便性の向上に向けた取り組みについて	JR西日本嵯峨野線等(胡麻・園部～亀岡間)の削減された便の復便については、これまで何度か質問してきたが、昨年3月議会では、「引き続きJRに要望し、京都府の後押しをお願いしていく」との答弁であり、昨年9月議会では、「のぼりを作って復便の願いをアピールすることを検討している」「京都建築大学の学生が多くの署名をJR西日本に提出いただいたことを踏まえ、他団体でも取り組める方法を探りたい」との答弁であった。そこで、以下の点について聞く。 ①新聞の報道によると2月12日に、「山陰本線京都中部複線化促進協議会」がJR西日本に対し、復便を求める要望書を提出され、その際、「山陰本線ダイヤ復便の会」として4万筆を超える署名も渡されたとのことであるが、署名の取り組みの経緯とその結果は。 ②のぼりの製作・掲出の取り組み状況は。 ③要望されてJR西日本の反応は。 3月のダイヤ改正などがJRから発表されたが、減便の継続含め胡麻・園部～亀岡間で利用者の利便性の向上に期待できる対策はない。昼間の車両の少ない電車や、座席数の減少など、一層、利用しづらい状況になっていると考える。復便と併せ、利便性の向上に向けて、JR西日本に対し、要望していくことが必要と考えるが。 総務常任委員会では、昨年11月、岡山県新見市の「JR西日本との包括連携協定」によるICOCAを活用した「電子地域ポイント事業」の取り組みを視察した。鉄道の利用促進というよりは、電子マネー活用によるポイント還元で、市内の経済循環の促進を目的に実施されている事業であったが、JR西日本との連携事業であることから、減便となっている胡麻・園部～亀岡間の復便に対するメリットが期待できるなら、ICOCAを活用した電子地域ポイント事業の導入も検討してはと考えるが。	市 長 担 当 部 長
	財政	物価高騰等が市財政に及ぼす影響とその対策について	電気・ガス・ガソリンなどのエネルギー価格や人件費などの上昇により、予算における経常経費が年々増高する一方で、その増高に見合う歳入、財源の確保は容易ではないと考える。物価高騰や人件費の増加が市財政に及ぼす影響とその対策に関し、以下の点について聞く。 ①電気・ガス・灯油などの光熱費やガソリンなど予算における物件費は、価格上昇の前(令和3年度)と比べおおよそどの程度、増加しているのか。 ②人件費の多くを占める一般職員(会計年度任用を含む)の給与費は、引き上げ前の令和3年度からどの程度増加しているのか。 ③歳出の増加の一方で、所得税や消費税等の増収による交付税収入や個人住民税の増など、歳入の自然増収も見込まれると考えるが、本市におけるこれらの7年度の増収見込みはどうか。 ④歳入増も見込まれるものの歳出増がそれを上回るものとする。物価高騰や人件費の上昇による経常経費の増加に対応しながらも市民サービスの維持・向上に取り組んでいく必要があると考えるが、そのためには、歳入の確保や歳出の見直し・縮減など財政健全化プラン緊急対策とも重なる面があるが、物価高騰等の影響に対し、どのような対策を講じていく考えなのか。 ⑤事務事業の執行において、業務委託の活用で、委託料が年々増加している中、物価高騰等で委託料の増高が財政に影響を及ぼすものとする。委託業務の棚卸しや委託範囲の見直し、契約のあり方など委託料の縮減を図るための取り組みが必要と考えるが。	

令和7年第1回南丹市議会3月定例会一般質問通告文書表
(個人質問)

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
活緑クラブ 八木 信樹 (一問一答) 質問予定日 2月28日 午後2時～		保育支援について	本年度における待機児童数と来年度の状況は。	市 長 教 育 長 担 当 部 長
			過去、待機児童解消に向けた保育人材確保について答弁されてきましたが、保育士への支援や待遇改善など、どのように支援を検討され、実施されてきたのか市長の見解を伺う。	
			本市内における幼稚園や保育所、認定こども園などの在り方として、今後どのような計画をもって子育て環境を整えていくのか市長の見解を伺う。	
	子育て支援	通学路の安全点検について	第一回交通安全対策に関する関係閣僚会議における内閣総理大臣指示を踏まえ、令和3年8月4日に通学路等における交通安全の確保及び飲酒運転の根絶に係る緊急対策が策定され、小学校の通学路を対象に合同点検を実施。全国で7万6,404カ所の対策箇所を抽出。そのうち6万1637カ所の対策が完了したとのことであるが、その後、数年が経過したなかで、本市の取り組み状況並びに今後、改善すべき点などについて教育長に伺う。	
		部活動の地域移行について	部活動の地域移行は、子どもたちが継続的にスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保できるようになると言われている。その一方で、指導者の確保や会場までの移動、部活動に対する支援など、様々な課題があると聞く。こうした状況の中で、本市の現状と部活動の地域移行について教育長のご所見を伺う。	
	観光	南丹市観光協会について	今年4月から本市の各観光協会を一本化し、南丹市観光協会を新たに発足することで、本市の観光情報を一元的に発信し、訪日外国人をはじめとする観光客の呼び込みを強化することだが、この一本化に向けた経緯と今後どのような展開を望まれているのか市長のご所見を伺う。	
	都市計画	八木駅東口周辺整備について	国道9号線をはじめ国道477号の駅前通りなどは、道路や歩道が狭隘であり、車の交通量も多いため、歩行者は注意を払って歩かなければならない状況である。それに加えて駅前広場では、車の往来が激しいにもかかわらず、車の走行ラインや歩行者用の道が整備されていない状態である。このような状況の中、地元有志で立ち上げられたJR八木駅東口周辺整備促進協議会が、環境整備に向けた要望活動を続けておられます。八木町では、現在本郷地域をはじめ、八木町大藪などで住宅着工がさらに進み、移住・定住を促進するための住環境が整いつつある。これに伴い、人口増加を見据えた環境整備とまちづくりが進む中で、JR八木駅東口の道路整備の必要性が高まっていると考えるが、市長の見解を伺う。	市 長 担 当 部 長